

全国ユース 環境ネットワーク

2026
Spring
vol. 20



第11回全国ユース
環境活動発表大会
全国大会&地方大会の
内容を掲載しています。
ぜひご覧ください！

Japan Environmental Youth Network



北海道真狩高等学校



立命館慶祥高等学校



青森県立名久井農業高等学校



宮城県農業高等学校



東洋大学附属牛久高等学校



玉川学園高等部



愛知県立安城農林高等学校



愛知県立新城有教館高等学校作手校舎



京都府立桂高等学校



奈良県立五條高等学校



広島県立世羅高等学校



岡山県立高梁城南高等学校



愛媛県立大洲農業高等学校



愛媛県立宇和島東高等学校



熊本県立八代農業高等学校泉分校



鹿児島玉龍高等学校

第11回 全国ユース環境活動発表大会

令和8年1月31日(土)～2月1日(日)、国連大学ウ・タント国際会議場とレセプション・ホール(東京都渋谷区)で、「第11回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会」が開催されました。全国8地方の地方大会で選ばれた16高校が出場。日頃より熱心に実践している環境活動、SDGs活動を発表しました。

また、大会冒頭、石原宏高環境大臣より高校生にメッセージをいただきました。



ご挨拶

皆さん、おはようございます。環境大臣の石原宏高です。

「第11回全国ユース環境活動発表大会 全国大会」へのご出場、おめでとうございます。

また、今大会の開催に当たりご尽力いただいた、環境再生保全機構と国連大学の皆様、後援・協賛をいただいた企業の皆様に、心から感謝申し上げます。

本大会は、未来を創る高校生の環境活動を募集し、高校生自らが実践している環境活動を発表する場として回を重ね、今年第11回目の開催となります。現在、私たちは気候変動、生物多様性の損失、環境汚染という3つの世界的な危機に直面しています。こうした難しい時代を乗り越え、新たな持続可能な経済社会を創造するために、リーダーシップや協働の意識を持った次世代の育成は、大変重要な課題です。

高校生の皆さんが日々の暮らしの中で地球の未来や環境問題に関心を持ち、解決策を提案していただいていることに、環境大臣として大変心強く感じています。

自ら問題を見つけ、仲間とともに知恵を出し合い、解決に向けて行動した経験は、これから社会に出て活躍する皆さんにとって、きっと大きな糧となることと思います。

全国各地で素晴らしい活動を行っている全国の高校生の皆さん、生徒に寄り添い、活動を支えてくださっている先生・保護者の皆様、地域の皆様に、感謝の気持ちをお伝えして、私からのメッセージとさせていただきます。



環境大臣
石原 宏高

第11回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会 記念写真



第11回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

〈実施概要〉

- 日程** 令和8年1月31日(土)～2月1日(日)
- 会場** 国連大学 ウ・タント国際会議場、レセプション・ホール
- 主催** 全国ユース環境活動発表大会実行委員会
(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所)
- 後援** 読売新聞社
- 協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)／
地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)／ESD活動支援センター
- 協賛** キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／
SGホールディングス株式会社／東芝プラントシステム株式会社



会場：国連大学
(東京都渋谷区)

受賞校のみなさん、おめでとうございます！

全国大会に出場した高校(団体)は、いずれの活動内容も発表もすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。



環境大臣賞

青森県立名久井農業高等学校 栽培環境班 FLORA The IIIrd.

泡の魔法 ～環境共生を支える除草剤の泡散布システムの開発～

世界で最も使われる農業は「除草剤」。しかし、飛散するため生態系や人々の健康を脅かす問題が発生しています。私たちは除草剤を泡沫にすることで、飛散の抑制や使用量の削減、土壌微生物への影響も抑えることに成功しました。泡にするのはムクロジなど、日本が奈良時代から洗剤にしていた植物。現在は実用化を見据えてメーカーとの協議を進めるほか、技術を世界に公開しています。



環境再生保全機構 理事長賞

宮城県農業高等学校 桜プロジェクトチーム

桜色の未来

気候変動の影響による猛暑で生じる「高温障害」で枯れてしまう地元・柴田町の桜を守るため、桜を高温・乾燥・塩害に強くする「桜色活力剤」を開発しました。柴田町では町民や町役場と協働し、桜色活力剤の散布活動を実施したほか、桜を様々な場所に植樹しています。さらに、JICA筑波では5カ国の代表者と植樹を行って国際発信を行い、「桜を守る地域モデル」を提案しました。



国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

東洋大学附属牛久高等学校 SDGs Lab

牛久大豆IIで創る持続可能な未来—地域から世界、そして宇宙へ—

日本遺産である牛久シャトーとの交流がきっかけで、産業廃棄物として処理されているワインパミス(ブドウの種や皮)を堆肥化し、その堆肥で大豆を栽培するアイデアが生まれました。2030年には、タンパク質の需要が供給を上回る「タンパク質危機」が予測されています。環境負荷が低い方法でタンパク質含有量の高い大豆を栽培することで、持続可能な地球環境を創造していきたいです。



読売新聞社賞

熊本県立八代農業高等学校泉分校 グリーンライフ科・地域探求部☆

100年後の故郷に豊かな森林環境を！ ～「高校生ハンター」が挑戦するシカ害対策・地域資源活用アクション～

泉町で目の当たりにしたのは、有害鳥獣による苗木の食害や下層植生の衰退によって生物多様性が低下するなど、森林からのSOSでした。林業従事者と森林を守るために、「森で学ぶ、森に学ぶ」の精神で「100年後の故郷に、豊かな森林環境を！」と合言葉を掲げ、挑戦をスタート！泉分校生が狩猟免許を取得し、「高校生ハンター」として野生鳥獣被害対策を実践しています。



第11回 全国ユース環境活動発表大会

受賞校のみなさん、おめでとうございます！



高校生が選ぶ特別賞

玉川学園高等部 サング研究部

サングの未来を救う一手に～環境変化に対応する新たなサング保全活動の提案～

サング研究部はサングが本来生息する南の地域（沖縄）で「環境変化に対応できず死滅してってしまうサング」に焦点をあてて移植活動を行ってきました。しかし、近年は東京湾でサング群生地が確認されています。そこで、「環境変化に対応できず死滅してしまうサング」に加え、東京湾などの北限域とよばれる地域に生息する「環境変化に対応するサング」に焦点をあてた新たな保全活動に挑戦しています。



先生が選ぶ特別賞

立命館慶祥高等学校 C-Rits 羽幌町 PR パートナー

北海道の人口100人の島・焼尻島の島おこし！

大自然に恵まれた一方で、焼尻島はさまざまな課題を抱えています。人口減少と少子高齢化、インフラ整備の遅れ。そしてなにより、人に「知られていない」ことです。私たちは焼尻島に人を呼び地域を活性化させるため、焼尻島にゆかりのあるメンバーを中心にPR活動を行ってきました。今後は焼尻島ツアーのビジネスを始め、経済的にも支えていくことが目標です。



協賛企業特別賞

奈良県立五條高等学校 ビジネス部

FUKU-FUKU LOOP ～服と福をつなぐ循環プロジェクト～

服の命を「捨てる」から「つなぐ」へ変える循環モデル「FUKU-FUKU LOOP」に取り組んでいます。思い出の服を新しい形に再生するリメイク事業 Re:MEMORY、不要な衣類を循環させるイベント Change Clothes、残った服を防災クッションへ再生する「見せない備蓄」の仕組みを構築しました。五條市ecoフェスを開催して約2千人が来場。衣類の価値や環境問題への気づきを広げました。



SDGs 活動特別賞

愛知県立新城有教館高等学校作手校舎 作手校舎農業クラブ生物保全プロジェクト班

生物補完計画～身近な生物を知る・守る・繋ぐ～

作手地域は「日本の重要湿地500」に選定されており、貴重な自然環境が残されています。しかし、条件付特定外来生物であるアメリカザリガニの繁殖により、その自然環境が変化してきています。私たちは作手地域の自然環境を守り、将来へと繋いでいくために生物調査や外来種駆除活動、保全啓発活動に取り組んでいます。作手地域の自然環境を地域と共に守る輪の形成を目指しています。



審査委員

<講評>

いま、持続可能な社会を世界中で実現するために、次の3点が重視されています。1つ目は、「ホールコミュニティ/ソサエティ・アプローチ」。地域丸ごと、社会丸ごとの取組という意味です。取組が、学校だけでなく、地域、そして社会全体に広がっていくということが、みなさんの活動でも実現しつつあります。

2つ目は、「トランスフォーメーション」。変革、変容を意味します。皆さんも活動によって自身や周囲が変わった経験があると思います。さらに社会を変えるために、制度や政策の面からも何をすべきか、ぜひ考えてみてください。

3つ目は、「環境正義」。環境問題の解決には公正な社会の実現が必要であることを意味します。その問題で被害を受けている人は誰か？その解決策を進めることで困る人はいないか？という視点が必要です。困る人がいるから解決策を取らないということではなく、解決に取り組む中で見つけた社会の歪みに対して

も同時に取り組むことが必要です。

皆さんの発表をととても楽しく聞かせてもらいました。これからのご活躍にも期待しています。



審査委員長

二ノ宮リム さち 立教大学 教授



審査委員

黒部 一隆
環境省
大臣官房総合政策課
環境教育推進室長



審査委員

飯塚 智
独立行政法人
環境再生保全機構
理事長



審査委員

山口 しのぶ
国連大学
サステイナビリティ
高等研究所所長



審査委員

新庄 秀規
読売新聞東京本社
教育ネットワーク
事務局長



審査委員

曲輪 正昭
協栄産業株式会社
本社 / 常務取締役





優秀賞 北海道真狩高等学校

有機分会

地域資源を活用した生物の力で持続可能な作物生産の研究
～炭素循環における無肥料栽培の科学的検証～

「自然豊かな真狩の農村風景を残したい」という想いで、「自然の中で植物が育つ仕組みを地域資源で再現した農業生産」に取り組んでいます。産業廃棄物となるきのこの廃菌床ともみ殻を農家等から寄与していただき、混ぜたものを畑の上に敷くだけでサツマイモを栽培しました。収量は全国平均以上となり、収穫の容易さなど、大きなメリットがありました。



優秀賞 愛知県立安城農林高等学校

土壌研究研修班

トマト副産物を活用したBSFによる
資源循環型食料生産プロジェクト

ミニトマト栽培で発生する茎などの副産物を、ブラックソルジャーフライ (BSF) というハエの幼虫に食べさせて再資源化する研究を行っています。副産物をBSFが分解し、高タンパク飼料に変えられました。さらに、その飼料をティラピアの養殖に利用し、排泄物で空芯菜を育てることで、「トマト→BSF→魚→野菜」という循環を実証しました。持続可能な食料生産モデルの確立を目指していきます。



優秀賞 京都府立桂高等学校

菌類研究班

コーヒー残渣を活用した循環型農業の実現に向けて

京都で排出量の多いコーヒー残渣を活用した循環型農業の実現に向けて活動しています。コーヒー残渣を培地の基材として活用した、きのこの菌床栽培が可能であることはわかっていました。しかし、このままではきのこの収穫後に残る廃菌床は廃棄されてしまいます。そこで、この廃菌床を堆肥化して畑に施肥することで資源を最後まで活用し、地域社会も巻き込んだ活動になることを目標としています。



優秀賞 広島県立世羅高等学校

ヒョウモンモドキ保全班

「絶滅危惧種ヒョウモンモドキの保護プロジェクト」
～通年飼育への挑戦～

地域の保全活動に携わる方々と協力し、絶滅危惧種であるヒョウモンモドキの保護活動を行っています。主な取組みは、飼育に必要となるアザミの栽培、ヒョウモンモドキの試験飼育、生息地の管理です。これらの取組みの結果、ヒョウモンモドキの通年試験飼育に成功し、66匹が羽化するなど高い成果を上げました。地域と連携した保全活動の継続と拡充を目指しています。



優秀賞 岡山県立高梁城南高等学校

グエツ・ゲゲゲのブッポウソウさんのオーケストラ・グエツ
絶滅危惧種！？高梁の青いアイドルを守れ！
～幸せを運び、未来をつなぐ～

高梁市に飛来する絶滅危惧種のブッポウソウを守り、その魅力を地域へ発信するために活動しています。高梁野鳥の会と協力し、生態講義の開催、標識調査・行動観察などの調査を実施しました。また、市内小学生を招いた観覧会ではガイド役を務め、子どもたちの自然への関心を高めました。世代を超えて自然と人をつなぎ、地域ぐるみで希少種を守る仕組みづくりに挑戦しています。



優秀賞 愛媛県立大洲農業高等学校

チーム Bashi Farm Innovators

「バショウ× Re:Design」
～地域資源を再構築する農業と文化の挑戦～

近年、多肥農業によって過剰な肥料養分が地下水を汚し、農業による環境負荷が高まっています。そこで、地域資源「バショウ」に多く含まれる無機成分に着目し、資源循環型の有機肥料の開発と生産者と消費者が連携した持続可能な農業の普及を目的として本研究を立ち上げ、5年目を迎えました。地元の農家の方々の御協力のもと、試験栽培を実施し、目に見える形で成果が表れています。



優秀賞 愛媛県立宇和島東高等学校

宇東生物部トキワバイカ班

世界に一つだけの花
～宇和島市の固有種トキワバイカツジの保全活動～

トキワバイカツジは、宇和島市にしか生育していない希少種です。この希少種を守りたいという思いから研究を開始し、現在は生育地の光環境と土壌環境について調べています。4年前からは、「トキワバイカ☆プロジェクト（宇和島市）」と連携して、南楽園での植樹活動や生育地での森林ボランティア活動にも取り組んでいます。希少種保全に向け、その意義は大きいと感じています。



優秀賞 鹿児島県立玉龍高等学校

鹿児島玉龍高校 Sea Flowers

環境問題を自分ごとに
「学び」×「体験」の『クリキンディ・プロジェクト』

環境問題を「自分ごと」に感じてもらうために「クリキンディ・プロジェクト」を進めています。準備した砂の中から、ピンセットでマイクロプラスチックを探す体験を中心に、学びと気づきがつながるような活動を大切にしています。これまでに多くの方が意識の変化を感じてくれました。今はこの体験を誰でも実施できるよう、採取キットや説明資料のパッケージ化にも挑戦しています。



第11回 全国ユース環境活動発表大会

2025年11月～12月に全国8地方で「第11回 全国ユース環境活動発表大会 地方大会」が開催され、全国から計102団体

北海道地方大会

◆日時: 2025年11月29日(土)
◆会場: ACU SAPPORO



地方大会最優秀賞
北海道真狩高等学校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞

北海道真狩高等学校
立命館慶祥高等学校
北海道士幌高等学校
北海道岩見沢農業高等学校
北海道大野農業高等学校
北海道真狩高等学校
北海道静内農業高等学校
北海道帯広農業高等学校
北海道士幌高等学校
札幌龍谷学園高等学校
北海道標津高等学校
北海道標茶高等学校
北海道美幌高等学校

有機分会
C-Rits 羽幌町PRパートナー
環境班
自然エネルギー班
果樹専攻班
RO分会
静農 草花研究班
環境アセスメント分会
地域資源専攻班
自然探究ゼミ「えぞりすくらぶ」
自然科学部
地域環境系列・環境ゼミ・環境保護班
農業クラブ



高校生が選ぶ特別賞
立命館慶祥高等学校

優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞



審査委員特別賞
北海道士幌高等学校



先生が選ぶ特別賞
北海道岩見沢農業高等学校



協賛企業特別賞
北海道大野農業高等学校



未来創造特別賞
北海道真狩高等学校



地域貢献活動賞
北海道静内農業高等学校

東北地方大会

◆日時: 2025年12月6日(土)
◆会場: TKP ガーデンシティ仙台



地方大会最優秀賞
青森県立久井農業高等学校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞

青森県立久井農業高等学校
宮城県農業高等学校
山形県立置賜農業高等学校
山形県立村山産業高等学校
青森県立久井農業高等学校
福島県立福島明成高等学校
岩手県立久慈翔北高等学校
郡山女子大学附属高等学校
宮城県南三陸高等学校
秋田県立新屋高等学校
秋田県立大曲農業高等学校
岩手県立花巻農業高等学校
山形県立村山産業高等学校

栽培環境班 FLORA The IIIrd.
桜プロジェクトチーム
アップサイクルマジックプロジェクト
サトイモ・芋煮研究班
環境研究班
笑顔フラワー班
森林生態科目群
特別進学クラス(研究部) エコフードチーム
自然科学部
理科研究部
果樹部
洋菓子研究班
エンドファイト研究班



高校生が選ぶ特別賞
宮城県農業高等学校

優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞



審査委員特別賞
山形県立置賜農業高等学校



先生が選ぶ特別賞
山形県立村山産業高等学校



協賛企業特別賞
青森県立久井農業高等学校



未来創造特別賞
福島県立福島明成高等学校



地域貢献活動賞
岩手県立久慈翔北高等学校

地方大会結果 (北海道地方大会、東北地方大会) 関東地方大会、中部地方大会

が出席しました。いずれの高校も魅力あふれる力のこもったプレゼンテーションを行い、活動の成果をアピールしました。

関東地方大会

◆日時: 2025年12月6日(土)
◆会場: TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川HEART



地方大会最優秀賞
東洋大学附属牛久高等学校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞

東洋大学附属牛久高等学校
玉川学園高等部
山梨県立都留高等学校
群馬県立藤岡北高等学校
神奈川県立商工高等学校
富士宮東、星陵、富岳館、
富士宮北、富士宮西、清水国際
千葉県立安房拓心高等学校
千葉県立安房拓心高等学校
埼玉県立所沢北高等学校
群馬県立大泉高等学校
湘南学園中学校高等学校
慶應義塾湘南藤沢高等部
アオハル! エコロジーラボ

SDGs Lab
サンゴ研究部
つる探 松田ゼミ
さかなぶ
ボランティア同好会

富士宮高校会議所
安房拓心園芸部
安房拓心サトウキビ組合
生物部
植物バイオ研究部・微生物バイオ研究部
Re:Rally
環境プロジェクト
マイクロ モビリティ プロジェクト



高校生が選ぶ特別賞
玉川学園高等部

地域貢献活動賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞



審査委員特別賞
山梨県立都留高等学校



先生が選ぶ特別賞
群馬県立藤岡北高等学校



協賛企業特別賞
神奈川県立商工高等学校



未来創造特別賞
富士宮東、星陵、富岳館、
富士宮北、富士宮西、清水国際



地域貢献活動賞
千葉県立安房拓心高等学校

中部地方大会

◆日時: 2025年11月29日(土)
◆会場: アーバンネット名古屋ネクスタカンファレンス



地方大会最優秀賞
愛知県立安城農林高等学校

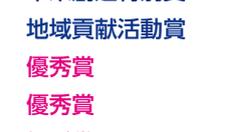
地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞

愛知県立安城農林高等学校
愛知県立新城有教館高等学校作手校舎
長野県更級農業高等学校
岐阜県立加茂農林高等学校
愛知県立佐屋高等学校
福井県立大野高等学校
福井県立福井商業高等学校
富山県立上市高等学校
愛知県立佐屋高等学校
愛知県立古知野高等学校
福井県立坂井高等学校

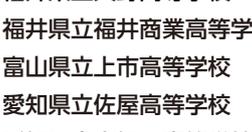
土壌研究研修班
作手校舎農業クラブ生物保全プロジェクト班
JRC 部
森林科学科 やまもみじ & やまさくら
園芸科学科2年生ベジタブルコース
JRC [結]
JRC 部 海るる
グリーン部
科学部
福祉ボランティア部
食農科学科農業コース草花班サスティナチーム



審査委員特別賞
長野県更級農業高等学校



先生が選ぶ特別賞
岐阜県立加茂農林高等学校



協賛企業特別賞
愛知県立佐屋高等学校



未来創造特別賞
福井県立大野高等学校



地域貢献活動賞
福井県立福井商業高等学校



審査委員特別賞
長野県更級農業高等学校



先生が選ぶ特別賞
岐阜県立加茂農林高等学校



協賛企業特別賞
愛知県立佐屋高等学校



未来創造特別賞
福井県立大野高等学校



地域貢献活動賞
福井県立福井商業高等学校

第11回 全国ユース環境活動発表大会

活動発表が終了した後の交流ワークショップでは、高校をミックスしたグループに分かれて、環境保全プロジェクトを企画
また、他の高校への応援メッセージを作成し、お互いの活動へのエールを送り合いました。いずれのグループもとても熱心

近畿地方大会

◆日時: 2025年12月21日(日)
◆会場: 大阪国際会議場



地方大会最優秀賞
京都府立桂高等学校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

京都府立桂高等学校
奈良県立五條高等学校
兵庫県立龍野高等学校
大阪府立枚方高等学校
兵庫県立姫路商業高等学校
京都府立宮津天橋高等学校
奈良県立磯城野高等学校
兵庫県立小野高等学校
兵庫県立小野高等学校
兵庫県立篠山東雲高等学校
滋賀県立虎姫高等学校
京都府立桂高等学校
桃山学院中学校高等学校

菌類研究班
ビジネス部
自然科学部生物班
生物飼育部
地域創生部
さんしょうもっちゃんず
プロジェクトチーム Flowers
かおり班
ヒメタイコウチ班
自然科学部
滋賀のわプロジェクト実行委員会
TAFS 第2研究群樹木研究班
桃山GoGreenProject



高校生が選ぶ特別賞
奈良県立五條高等学校



審査委員特別賞
兵庫県立龍野高等学校



先生が選ぶ特別賞
大阪府立枚方高等学校



協賛企業特別賞
兵庫県立姫路商業高等学校



未来創造特別賞
京都府立宮津天橋高等学校



地域貢献活動賞
奈良県立磯城野高等学校

中国地方大会

◆日時: 2025年12月14日(日)
◆会場: 広島国際会議場



地方大会最優秀賞
広島県立世羅高等学校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

広島県立世羅高等学校
岡山県立高梁城南高等学校
岡山県立東岡山工業高等学校
広島県立加計高等学校芸北分校
きらら浜自然観察公園
レンジャークラブ中学生・高校生クラス
学校法人山口高川学園 高川学園高等学校
松徳学院中学校高等学校
広島県立賀茂北高等学校
岡山県立倉敷工業高等学校
広島県立福山明王台高等学校
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校
岡山学芸館高等学校
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校

ヒョウモンモドキ保全班
グエッ・ゲゲグのプポウソウさんのオーケストラ・グエッ
化学研究部
ほの果な茅ばたけ
チームきらら
科学部サンショウウオ班
チーム松徳
科学研究部
倉工テキスタイル工学科マイクロファイバー研究チーム
福山クワイ茶班
ピオトープ班
もし藻紙
だるまがえるくらぶ



高校生が選ぶ特別賞
岡山県立高梁城南高等学校



審査委員特別賞
岡山県立東岡山工業高等学校



先生が選ぶ特別賞
広島県立加計高等学校芸北分校



協賛企業特別賞
きらら浜自然観察公園
レンジャークラブ中学生・高校生クラス



未来創造特別賞
学校法人山口高川学園
高川学園高等学校



地域貢献活動賞
松徳学院中学校高等学校

地方大会結果（近畿地方大会、中国地方大会 四国地方大会、九州・沖縄地方大会）

する「アイデア・シェアリング」のワークを行い、相互の交流を図りました。
な議論が行われました。

四国地方大会

◆日時：2025年12月20日（土）
◆会場：レクザムホール



地方大会最優秀賞
愛媛県立大洲農業高等学校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞

愛媛県立大洲農業高等学校
愛媛県立宇和島東高等学校
徳島県立城西高等学校神山校
徳島県立那賀高等学校
愛媛県立西条農業高等学校
愛媛県立西条農業高等学校
愛媛県立長浜高等学校
愛媛県立小松高等学校
愛媛県立新居浜工業高等学校
愛媛県立宇和島東高等学校
愛媛県立宇和島東高等学校
徳島県立阿南光高等学校
愛媛県立西条農業高等学校

チーム Basho Farm Innovators
宇東生物部トキワバイカ班
まめのくぼプロジェクトチーム
エシカルクラブ
チームパパイア
石鎚黒茶SELプロジェクトチーム
水族館部
経済研究部
新居浜工業高校環境化学部
宇東生物部カキ班
宇東生物部水質浄化班
緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム
環境工学科千町棚田チーム



高校生が選ぶ特別賞
愛媛県立宇和島東高等学校

優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞



審査委員特別賞
徳島県立城西高等学校神山校



先生が選ぶ特別賞
徳島県立那賀高等学校



協賛企業特別賞
愛媛県立西条農業高等学校



未来創造特別賞
愛媛県立西条農業高等学校



地域貢献活動賞
愛媛県立長浜高等学校

九州・沖縄地方大会

◆日時：2025年12月14日（日）
◆会場：福岡国際会議場



地方大会最優秀賞
熊本県立八代農業高等学校泉分校

地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
未来創造特別賞
地域貢献活動賞

熊本県立八代農業高等学校泉分校
鹿児島玉龍高等学校
宮崎県立都城商業高等学校
熊本県立熊本農業高等学校
大分県立佐伯豊南高等学校
熊本県立菊池農業高等学校
長崎県立諫早農業高等学校
熊本県立北稜高等学校
長崎県立諫早農業高等学校
鹿児島県立市来農芸高等学校
学校法人後藤学園 楊志館高等学校
長崎県立対馬高等学校
熊本県立矢部高等学校

グリーンライフ科・地域探求部 ☆
鹿児島玉龍高校 Sea Flowers
紙漉き文化再生プロジェクト
養豚プロジェクト
大分県立佐伯豊南高等学校商業部
地域資源研究班
生物工学部
造園科
食品科学部
自主研究同好会
德育宣隊「拾うんじゃ〜」
ユネスコスクール部
森林保全班



高校生が選ぶ特別賞
鹿児島玉龍高等学校

優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞



審査委員特別賞
宮崎県立都城商業高等学校



先生が選ぶ特別賞
熊本県立熊本農業高等学校



協賛企業特別賞
大分県立佐伯豊南高等学校



未来創造特別賞
熊本県立菊池農業高等学校



地域貢献活動賞
長崎県立諫早農業高等学校

第11回 全国ユース環境活動発表大会

全国の高校生が熱心に環境・SDGs活動に取り組みました。

第11回全国ユース環境活動発表大会に応募していただいた高校・団体を一覧でご紹介します。

都道府県について

本大会は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別に区分しています。

北海道 13団体

北海道帯広農業高等学校
環境アセスメント分会
河川・水田における水環境と未利用資源での水質浄化の検証

北海道士幌高等学校
地域資源専攻班
十勝フードイノベーション
～地域資源を活用した付加価値の創造と地域活性化～

北海道士幌高等学校
環境班
持続可能な地域環境を目指して
～防風林の未利用資源活用～

札幌龍谷学園高等学校
自然探究ゼミ「えぞりすくらぶ」
もっと、ぐっと、自然を身近に
～知事公館デジタル自然マッププロジェクト～

北海道真狩高等学校
RO分会
持続可能な農業生産を目指して！
～北海道版リジェネラティブ農業の実践～

北海道大野農業高等学校
果樹専攻班
持続可能な果樹生産を目指して
～ほくとの大地から～

北海道岩見沢農業高等学校
自然エネルギー班
北の雪から
～もみからの循環利用による持続可能な農業経営の実現～

北海道標津高等学校
自然科学部
オショロコマプロジェクト

北海道真狩高等学校
有機分会
地域資源を活用した生物の力で持続可能な作物生産の研究
～炭素循環における無肥料栽培の科学的検証～

北海道標茶高等学校
地域環境系列・環境ゼミ・環境保護班
ウチダザリガニと向き合う
～守り・学び・活かす地域の挑戦～

北海道美幌高等学校
農業クラブ
農業クラブから広げる実体験！
～地域へ持続可能な農業を発信しよう！～

北海道静内農業高等学校
静農 草花研究班
生産と環境の両立を目指して
～カーボンファームによる輝かしい未来～

立命館慶祥高等学校
C-Rits 羽幌町PRパートナー
北海道の人口100人の島・焼尻島の島おこし！

東北 20団体

郡山女子大学附属高等学校
特別進学クラス（研究部）エコフードチーム
みかんの皮が地球を救う！

宮城県農業高等学校
桜プロジェクトチーム
桜色の未来

青森県立名久井農業高等学校
環境研究班
リキッド・リサイクル
～富栄養化湖沼と水後廃液を資源に変える循環型技術の開発～

青森県立名久井農業高等学校
栽培環境班 FLORA The III rd.
泡の魔法
～環境共生を支える除草剤の泡散布システムの開発～

宮城県南三陸高等学校
自然科学部
松原海岸の生物調査

秋田県立新屋高等学校
理科研究部
地域の宝を未来へつなぐ
～厄介者を価値ある資源にアップサイクル！～

秋田県立大曲農業高等学校
果樹部
湯治
一成長の果実を分配するために

山形県立置賜農業高等学校
アップサイクルマジックプロジェクト
食品残渣の資源循環と脱炭素を実現するアップサイクルの取り組み

岩手県立久慈翔北高等学校
森林生態科目群
後世に受け継ぐ「日本一の白樺美林」
～森林資源の保全と活用から広がる地域貢献～

岩手県立花巻農業高等学校
洋菓子研究班
雑穀の郷復活へ！
～いわてあわこがねを活用した新商品開発を目指して～

青森県立三本木農業恵拓高等学校
COW 飼う'S
高オレイン酸ヒマワリ飼料化プロジェクト
～耕作放棄地の有効活用を目指して菌耕法の実践～

山形県立山形西高等学校
放課後実験倶楽部
地域の絶滅危惧生物を知る

山形県立村山産業高等学校
エンドファイト研究班
地域農業に新しい提案！
化学肥料を減らす、エンドファイト！

青森県立大湊高等学校
サイエンスクラブ
陸奥湾ホタテの危機を救え！
貝殻由来の制酸剤の作製と胃薬への応用

宮城学院高等学校
自然科学班
水の森公園キャンプ場に生息するトウホクサンショウウオ保護プロジェクト

山形県立谷地高等学校
メディア地域探究部地域探究班
地域資源を活用した商品開発
～やるぞ ちからの限り～

福島県立福島明成高等学校
笑顔フラワー班
花で紡ぐ地域の輪
笑顔フラオ（わー）プロジェクト

応募高校一覧

仙台高等専門学校 名取キャンパス
仙専ボーイズ
夏の暑さには清涼シート！
～トモロコシの芯を救え!!!～

山形県立村山産業高等学校
サトイモ・芋煮研究班
地域連携で実現するサトイモ環境経営：
CO₂貯留パイオ炭と省エネルギー流通システムの開発

青森県立名久井農業高等学校
栽培環境班&野菜班
時代に立ち向かう栽培術

関東 21団体

山梨県立都留高等学校
つる探 松田ゼミ
TSURUTANプロジェクト
～郡内織の新たなビジネスモデルの提案～

神奈川県立商工高等学校
ボランティア同好会
プラスチック問題の現状と課題

光明学園相模原高等学校
理科研究部
STOP! クリハラリス
～特定外来生物の分布を抑えるために～

千葉県立安房拓心高等学校
安房拓心サトウキビ組合
サトウキビの栽培・有効活用
～FARM TO FUTURE～大人まで地域で作る新たな産業

栃木県立宇都宮白楊高等学校
食品製造分會
地域活性化と食品ロス削減を目指した商品開発プロジェクト
～地域資源の活用で叶えるSDGs!～

東海大学付属甲府高等学校
自然科学同好会
荒川 Re:birth
～かつての清流を取り戻す自然再生活動～

埼玉県立所沢北高等学校
生物部
独自のクビアカツヤカミキリ防除策と
情報発信で未来のサクラを守る

群馬県立大泉高等学校
植物バイオ研究部・微生物バイオ研究部
日本遺産「里沼」の保全活動
～人と自然が共生する茂林寺沼を目指して～

湘南学園中学校高等学校
Re:Rally
Re:Rally テニスボールに第二の人生を

栃木県立矢板東高等学校
リベラルアーツ同好会 森本project
矢板市の森林資源をめぐる動向と
水辺の生態調査

富士宮東、星陵、富岳館、富士宮北、富士宮西、清水国際
富士宮高校会議所
持続可能な社会を目指して
～新商品を開発してビジネスの視野を考えた
持続可能な社会を創出

埼玉県立杉戸農業高等学校食品流通科
NGF 研究班
大豆が変える食料と地球環境の未来

東洋大学附属牛久高等学校
SDGs Lab
牛久大豆IIで創る持続可能な未来
～地域から世界、そして宇宙へ～

慶應義塾湘南藤沢高等部
環境プロジェクト
地域と協力! 未来を支える環境活動

群馬県立藤岡北高等学校
さかなぶ
ヤリタナゴの里創出
～地域環境保全とたなご米栽培による地域振興～

アオハル! エコロジーラボ
マイクロ モビリティ プロジェクト
超小型モビリティのシェアサービス
導入の提案 in Shizuoka

玉川学園高等部
サンゴ研究部
サンゴの未来を救う一手に
～環境変化に対応する新たなサンゴ保全活動の提案～

千葉県立安房拓心高等学校
安房拓心園芸部
南房総から見る中山間地域の未来
～地域資源「鴨川七里」で拓く～

栃木県立宇都宮白楊高等学校
食品科学部
地産地消食育プロジェクト
～DXハイスクールを活かした学校給食との連携活動～

オイスカ浜松国際高等学校
環境SDGsプロジェクト
ECOサップごみ拾い競争
～マリンスポーツで地方創生SDGs～

静岡県立島田商業高等学校
地方創生 SHIMASHO
フードロス削減、放置竹林の活用を目指し、
ギネス認定の蓬莱橋を後世に残すために
私たち高校生にもできること

中部 11団体

愛知県立佐屋高等学校
園芸科学科2年生ベジタブルコース
ストップ フードロス
規格外農産物の有効利用

富山県立上市高等学校
グリーン部
上市川の豊かさを守る活動
～特定外来生物の駆除と絶滅危惧種の保護の取り組み～

愛知県立新城有教館高等学校作手校舎
作手校舎農業クラブ生物保全プロジェクト班
生物補完計画
～身近な生物を知る・守る・繋ぐ～

長野県更級農業高等学校
JRC部
放置竹林整備と竹の利活用

愛知県立安城農林高等学校
土壌研究研修班
トマト副産物を活用したBSFによる
資源循環型食料生産プロジェクト

福井県立大野高等学校
JRC [結]
“Mottainai”をシェアして未来へつなぐ
～千年先へ! 福井の繊維と「すこスコーン」～

岐阜県立加茂農林高等学校
森林科学科 やまもみじ & やまさくら
こーなら できるぞ
コナラの株立ち状苗木づくり

愛知県立佐屋高等学校
科学部
木曽川の流れる地域を繋ぐ
～生き物たちとつむぐ私たちの未来～

福井県立福井商業高等学校
JRC部 海るる
みなさんは未来に何を残したいですか

愛知県立古知野高等学校
福祉ボランティア部
木曽川のカワラサイコの生育地域外での栽培に挑戦!
～カワラ姉妹の楽園を造ろう!～

第11回 全国ユース環境活動発表大会

<p>福井県立坂井高等学校 食農科学科農業コース草花班サスティナチーム 絶滅危惧種の保全から見た未来 ～アゼオトギリとエチゼンダイモンジソウの 保全による持続可能な農業の実現～</p>	<p>近畿 17団体</p>	<p>兵庫県立姫路商業高等学校 地域創生部 ひょうごに住む私たちの地域創生 ～阪神・淡路大震災から30年 災害用備蓄食品の取組～</p>
<p>奈良県立五條高等学校 ビジネス部 FUKU-FUKU LOOP ～服と福をつなぐ循環プロジェクト～</p>	<p>兵庫県立小野高等学校 かおり班 里山のクロモジ、かおりのひみつ</p>	<p>兵庫県立小野高等学校 スマレ班 正しい保全は、正しい分類から。 ～DNAで読み解くスマレの系譜～</p>
<p>兵庫県立小野高等学校 ヒメタイコウチ班 ヒメタイコウチの分布調査と分子系統解析および 生態ニッチモデリングによる種・地域個体群の保全</p>	<p>兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部 地域の自然環境を調べ、守り、伝える活動</p>	<p>滋賀県立虎姫高等学校 滋賀のわプロジェクト実行委員会 地域に広げる環境教育の仕組みづくり ～真に開かれた学校を目指して～</p>
<p>京都府立桂高等学校 TAFS 第2研究群樹木研究班 キクタンギクから広がる共生と継承の輪 ～京都から未来へ繋ぐ「命と価値の再生」～</p>	<p>兵庫県立龍野高等学校 自然科学部生物班 「生物多様性龍高プラン」 高校生による地域の自然環境と生きものの保全活動</p>	<p>滋賀県立長浜農業高等学校 食品科 農産物利用分野 たかつきメロンを救え！ ～地域課題に立ち向かう高校生の新たな挑戦～</p>
<p>奈良県立磯城野高等学校 プロジェクトチーム Flowers 各種甲虫類のふいふい～ん土の開発</p>	<p>桃山学院中学校高等学校 桃山GoGreenProject 使い捨てカイロで 私たちの暮らしを守ろう！</p>	<p>京都府立宮津天橋高等学校 さんしょうもっちーず サンショウモはイネの敵か味方か？ 一保全に向けた影響評価一</p>
<p>京都府立宮津天橋高等学校 フィー探自然塾 感じて、学んで、広げる！ ～フィー探がつなげる丹後の自然～</p>	<p>大阪府立豊中高等学校 豊中高校地学2班 高校生が考えた地球温暖化防止のための 行動提案をグローバルに展開する</p>	<p>大阪府立枚方高等学校 生物飼育部 次世代と紡ぐ里山の未来 ～飼育部ふぁーむ～</p>
<p>京都府立桂高等学校 菌類研究班 コーヒー残渣を活用した 循環型農業の実現に向けて</p>	<p>中国 16団体</p>	<p>広島県立賀茂北高等学校 科学研究部 里山づくりからはじまる地域革命！ ～オオサンショウウオの保全活動を通して～</p>
<p>岡山県立倉敷工業高等学校 倉工テキスタイル工学科マイクロファイバー研究チーム 小さな侵略者!? マイクロファイバーによる海洋汚染を防ぐには</p>	<p>学校法人山口高川学園 高川学園高等学校 科学部サンショウウオ班 山口県産サンショウウオの 保護区制定に向けての研究活動</p>	<p>広島県立福山明王台高等学校 福山クワイ茶班 クワイプロジェクト ～衣装ケースを使ったクワイ栽培とクワイ茶の試作～</p>
<p>広島県立加計高等学校芸北分校 ほの果な茅ばたけ 芸北に茅葺きの建物を建てる！</p>	<p>松徳学院中学校高等学校 チーム松徳 水の都松江から世界へ</p>	<p>山口県立下関西高等学校 公民1班 プラスチックをPLASTICな思考で考えよう</p>
<p>山口県立下関西高等学校 化学1班 使用済み電池が日焼け止めに大変身!? ・・・かも?</p>	<p>きらら浜自然観察公園 レンジャークラブ中学生・高校生クラス チームきらら 山口湾の自然を守ろう、伝えよう</p>	<p>岡山県立高梁城南高等学校 グエツ・ガガのブッポウソウさんのオーケストラ・グエツ 絶滅危惧種!?高梁の青いアイドルを守れ! ～幸せを選び、未来をつなぐ～</p>
<p>ノートルダム清心学園 清心女子高等学校 大地を再生し隊 穴掘りで大地再生</p>	<p>広島県立世羅高等学校 ヒョウモンモドキ保全班 「絶滅危惧種ヒョウモンモドキの保護プロジェクト」 ～通年飼育への挑戦～</p>	<p>ノートルダム清心学園 清心女子高等学校 ビオトープ班 ビオトープから見る生態系の変化</p>
<p>岡山学芸館高等学校 もし藻紙 目指せ!里海ペーパー</p>	<p>岡山県立東岡山工業高等学校 化学研究部 好適環境水を利用した持続可能な 食料生産システムの研究</p>	<p>ノートルダム清心学園 清心女子高等学校 だるまがえるくらぶ 岡山のダルマガエルを救え! 友達大募集!</p>

応募高校一覧

四国 13団体

愛媛県立小松高等学校

経済研究部

地球にやさしい選択
～ダンボールコンポストの魅力～

愛媛県立西条農業高等学校

石鎚黒茶SELプロジェクトチーム
国指定無形民俗文化財「石鎚黒茶」を
次代につなぐための活動

愛媛県立宇和島東高等学校

宇東生物部水質浄化班

炭化みかんを用いた発展途上国のための
水質浄化装置

愛媛県立長浜高等学校

水族館部

水族館から広がる、エコの輪

大分県立佐伯豊南高等学校

大分県立佐伯豊南高等学校商業部

未利用魚を活用した商品開発

鹿児島県立市来農芸高等学校

自主研究同好会

コオロギで持続可能な環境創造
～プロテイン革命で低環境負荷～

宮崎県立都城商業高等学校

紙漉き文化再生プロジェクト

都城リジェネ和紙
～文化と資源でつむぐ、サステナビリティ～

佐賀県立佐賀農業高等学校

マスカットプロジェクトチーム

シャインマスカットの長期貯蔵技術の確立と
佐農仕立て方式への挑戦

長崎県立対馬高等学校

ユネスコスクール部

「国境の島・対馬」の環境を
保全するための活動について

鹿児島県立大島北高等学校

自然環境班シオマネキグループ

なせ手花部干潟には多様なシオマネキが
生息しているのか？

博多女子高等学校

地域共創部

活かす 酒かす 何かすごい！

徳島県立那賀高等学校

エシカルクラブ

想いを未来へ紡ぐ、服の無料譲渡活動「服活」
～今、私たちができること～

愛媛県立新居浜工業高等学校

新居浜工業高校 環境化学部

第3回 生き物から環境を考える
プログラムの作成と環境問題啓発活動

愛媛県立宇和島東高等学校

宇東生物部カキ班

辰野川のカキの生態調査と
貝類の持つ水質浄化能力

徳島県立阿南光高等学校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

みんなが地球という船にのっているのだから、
命あふれる食をごみとして出さない！

徳島県立城西高等学校神山校

まめのくぼプロジェクトチーム

耕作放棄地「まめのくぼ」を憩いの場に！
～環境に配慮した循環型農業の実践と
地域創生の取組を通して～

熊本県立北稜高等学校

造園科

造園の廃棄物を利用したキノコ栽培に関する研究
～循環型の環境創造を目指して～

学校法人後藤学園 楊志館高等学校

徳育宣隊「拾うんじゃ～」

全生物がマイクロプラスチックを
食べない世界をめざして

鹿児島玉龍高等学校

鹿児島玉龍高校 Sea Flowers

環境問題を自分ごとに「学び」×「体験」の
『クリキンディ・プロジェクト』

長崎県立口加高等学校

アマモ班

アマモで脱炭素大作戦☆

熊本県立熊本農業高等学校

養豚プロジェクト

持続可能な養豚経営をめざして
～くまもとの赤による地方創生プロジェクト～

長崎県立諫早農業高等学校

生物工学部

廃棄物を資源化プロジェクトチーム

熊本県立矢部高等学校

森林保全班

持続可能な森林づくり
～どんぐりで広げる水源林保全と国土保全の輪～

愛媛県立西条農業高等学校

チームパイイヤ

「青パイイヤ」×「ソーラー」による
未来型農業の実現！

愛媛県立大洲農業高等学校

チームBasho Farm Innovators

「パシヨウ×Re:Design」
～地域資源を再構築する農業と文化の挑戦～

愛媛県立宇和島東高等学校

宇東生物部トキワバイカ班

世界に一つだけの花
～宇和島市の固有種トキワバイカツツジの保全活動～

愛媛県立西条農業高等学校

環境工学科千町棚田チーム

千町棚田を守れ
～西条農業高等学校から発信～

九州・沖縄 20団体

長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部

産業廃棄物“ゼロ”への取り組み
～醤油粕から新しい食品の開発～

熊本県立八代農業高等学校泉分校

グリーンライフ科・地域探求部☆

100年後の故郷に豊かな森林環境を！
～「高校生ハンター」が挑戦する
シカ害対策・地域資源活用アクション～

熊本県立菊池農業高等学校

地域資源研究班

竹は地域の宝物
竹資源を活用した持続可能な地域社会を目指して

長崎県立中五島高等学校

パブリックワーク環境班

つなぐ！未来の海への責任

鹿児島県立大島北高等学校

自然環境班トビンニャグループ

トビンニャの減少原因の考察と
持続可能な資源管理の提案

熊本県立宇土高等学校

科学部地学班

不知火を追い求めて分かった
地域の環境変化と研究の普及啓発活動



よるこびがつながり世界へ

KIRIN キリンホールディングス



神奈川大学附属中・高等学校

2026年1月7日（水）、神奈川大学附属中・高等学校の生徒が高校生環境企業研修に参加。神奈川県横浜市鶴見区にあるキリンホールディングスのパッケージイノベーション研究所を視察し、企業の環境保全などの取組を学びました。



研修後の記念写真

キリンホールディングス パッケージイノベーション研究所

パッケージからイノベーションを起こす

パッケージはあらゆる商品に使われています。商品を手にとったとき最初に触れる部分であり、物流工程や店頭で衝撃や気温変化から商品の中身を守る重要な役割も担っています。一方で近年では、プラスチック容器による海洋汚染などパッケージを取り巻く社会課題も顕在化しています。パッケージに変革を起こすことで人々にあたらしい価値を提供するとともに、社会課題を解決する。それがパッケージイノベーション研究所のミッションです。



～研修を終えて～キリンホールディングスご担当者からのメッセージ

今回の研修での率直な感想

日頃購入いただいているキリングroup商品のパッケージに關する工夫や省資源化・リサイクルの取組みをご説明し、ほんのわずかな材料使用量削減が、資源枯渇のセーブや温室効果ガスの削減に大きく寄与していることを理解いただきました。

今回、お客様の視点に最も近く、環境に対する意識の高い高校生のみなさんと意見交換ができて、我々の今後の容器やリサイクル技術の開発に生きるアイデアをいただけたこと、今後の高校生のみなさんの環境課題に対する取組みのマインドをわずかながらでも高められたことは、今回の受け入れを通じて非常に光栄な機会を頂戴できたと感じています。

このような機会を増やして、キリングroupならびに社会に貢献する研究所として、今後も広く活動していきたいと思ひます。



講師
大久保 辰則 さん



パッケージの説明

～研修を終えて～高校生の感想

今回の研修で、普段使用しているペットボトルや缶が、使いやすいや省資源など、様々な面を考慮して作られていることを知りました。また、段ボールや包装紙についても、省資源化のために改良され続けており、とても驚きました。しかし、研修の中で最も心を動かされたことは、ある一つの製品に対して行った改良が、他の製品にも応用されることで、省資源化を進めていることです。これは、私たちが行っている研究にも通ずる部分があると感じました。その他にも、お互いの研究についての議論で貴重な意見を頂き、充実した研修になりました。



研修の様子



キリンホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。



のんだあとはリサイクル。

KYOEI 協栄産業株式会社



東洋大学附属牛久高等学校



協栄産業と東洋大学附属牛久高等学校のみなさん

2026年1月17日（土）、東洋大学附属牛久高等学校の生徒が高校生環境企業研修に参加。茨城県笠間市にある協栄産業グループ ジャパンテック株式会社・東日本PETボトルMRセンターを視察し、ペットボトルの水平リサイクルなどについて学びました。

研修内容

ペットボトルの水平リサイクルでカーボンニュートラルと持続可能な社会の実現に貢献します

日本初の「ボトルtoボトル」から、世界初の「FtoP ダイレクトリサイクル」へ

協栄産業グループは、2011年に独自開発した不純物を徹底的に取り除くと同時に物性の回復を実現するメカニカルリサイクル技術による「ボトルtoボトル水平リサイクル^{*1}」を日本で初めて実現しました。この技術によって作られた再生原料は、石油由来原料と同等の品質を有し、石油由来原料からの製造時と比べCO₂排出量を約63%も削減することができます。現在、弊社の再生原料は多くの清涼飲料水に採用されています。2018年には更なる技術革新を追求し、PETフレークから直接ペットボトルの原型となるプリフォームを製造する世界初の「FtoP^{*2}ダイレクトリサイクル技術」を実現いたしました。この技術は、従来の再生法と比べ、製造・輸送など多くの工程を削減しCO₂排出量を約70%も削減することができます。

*1 使用済みペットボトルから再びペットボトルへと生まれ変わらせる技術 *2 フレークtoプリフォーム

▶ 小さなことからできること

弊社グループは、街中から排出される使用済みペットボトルを都市から湧き出る貴重な「都市油田」と捉え、ペットボトル資源の循環を通して、次世代の子供たちに豊かな地球環境と限りある資源を繋ぐために、ペットボトルリサイクルに取り組んでおります。資源を循環させ、様々なものへ生まれ変わらせるためには、きれいなペットボトルの収集が不可欠となります。そのためには、「ペットボトルの中を軽くすすぎ、ラベルを取ってキャップを外す」といった分別が重要になります。ご家庭だけでなく、外出先でも分別を行うことで、あらゆるペットボトルが高品質な原料へと生まれ変わり、再びペットボトルとして生まれ変わることができます。地球環境を守り、限りある資源を未来に残していくため、これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

▶ 高校生の皆さんへ

目標を持って仲間と試行錯誤を繰り返しながら、地域・社会課題解決に取り組む姿勢に感銘を受けました。日頃の研究成果を一生懸命に発表し、これからの研究のヒントをつかもうと、熱心に耳を傾け、メモを取り、疑問に思ったことを積極的に質問する姿を見て、とても心強く思い、未来を担っていく皆さんに無限の可能性を感じました。これからも皆さんの素晴らしい未来に向けた活動を応援しています。



研修の様子



ペットボトルリサイクルで貢献する5つのSDGs



東洋大学附属牛久高等学校のみなさん

S.Uさん

協栄産業さんの工場を見学させていただき、「分ければ資源、混ぜればゴミ」という理念を実際の工場を通して理解することができました。多くの環境問題の原因にもなっているプラスチックですが、企業だけではなく我々一人一人が分別リサイクルをすることが大きな一歩になっていると改めて感じました。

K.Hさん

今回の研修で一番印象的だったのはペットボトルの国内循環の話です。資源を何があったとしても循環できるようにという思い、またそのためにボトルtoボトルしかないといった突き進む力に感銘を受けました。今回の研修は大変有意義な機会であつたと思います。ありがとうございました。

K.Kさん

環境問題の解決を進めるための技術を開発するためのご説明をいただき、見学の機会を頂きました。また、その技術に辿り着くまでの苦労や努力についてもお話をいただき、その中で、新しいことに挑戦することの困難さや、挫折を経験しても行動を起こし続けることの大切さを感じました。

S.Kさん

FtoP技術での再利用の流れや現在のリサイクルの形が完成するまでの話を聞かせていただいたほか、キャップやラベルを外す理由など、今まで疑問に思っていたことを現場の方の言葉で知れてすごく印象に残りました。未来の石油資源問題を解決していく最先端技術を聞いて見ることができて良かったです！

D.Tさん

今回の研修では、普段はお目にかかれないような機械設備や協栄産業様独自のFtoPリサイクル技術を間近で見学することができ、資源循環の可能性を強く実感しました。また、私達の複合材料アスファルトの研究に際し、貴重な材料をご提供いただいたことに心より感謝申し上げます。



活動紹介の様子

協栄産業株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。



SGホールディングス株式会社

Grow the new Story.
新しい物語で、新しい社会も、共に育む。



神奈川県立商工高等学校
慶應義塾湘南藤沢高等部
晃華学園中学校高等学校

2025年11月2日（日）、神奈川県立商工高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、晃華学園中学校高等学校の3校の生徒が高校生環境企業研修に参加しました。東京都八王子市の佐川急便「高尾100年の森」にて、SGホールディングス株式会社の環境対策について学び、森林散策や整備作業などを体験しました。



参加高校生の皆さんの集合写真

佐川急便「高尾100年の森」

佐川急便ではトラックなどの事業活動から排出されるCO₂の吸収源となる森林保全に取り組んでいます。

社有林約50ヘクタールを対象に、市民、大学などの教育機関や専門家、企業など多くの人たちと協働で「地球温暖化防止に役立つ里山」「人と自然が共生する里山」の再生を、「100年」という言葉に象徴されるゆったりとしたタイムスケールの長期的なビジョンのもとで進めています。里山保全活動の他にも、自然体験や環境教育などの場としても活用し、森林保全や生物多様性保全への理解を促進しています。自然環境のみならず、歴史的・文化的価値の高いこの里山を良いかたちで後世に残し、「社会・自然との共生」への貢献を目指しています。



当日のプログラム

- ◆挨拶、自己紹介
- ◆ミニ講座
- ◆森の散策・木々のお手入れ
- ◆昼食休憩&焚火
- ◆色探しゲーム・植樹地の環境整備
- ◆体験のふりかえり・共有
- ◆終わりの挨拶・記念撮影



～研修を終えて～ SGホールディングス株式会社 ご担当者メッセージ

今回の研修で、自然の素晴らしさ、重要性を体験・実感してもらえたようで、とても嬉しく思います。研修で学んだことを、ぜひ後輩や周りの皆さんにも伝えてもらえるとありがたいです。また機会があれば、引き続きこの「高尾100年の森」に関わってもらえると嬉しいです。



ESG推進部
岩村 寿子氏

～研修を終えて～ 高校生の感想

神奈川県立商工高等学校

1つの山にイノシシやシカ、クマなどの生物が生態系のバランスを保っていることに驚きました。哺乳類を目にする事は出来ませんが、様々な昆虫や植物、また動物の痕跡を見られてとても興味深かったです。

研修に参加させてもらっていろいろな活動を行いました。実際に歩いてアナグマの巣の跡やキノコなど、自然を多く感じられました。また太陽光を取り入れるために小さな木を切ったり逆に植えたりなど、多く自然に貢献できたと思うので良かったです。



慶應義塾湘南藤沢高等部

今までの人生でしたことのない経験がたくさんできてとても楽しかったです。森の生態系を学び、森の除伐をし、木を植え…と森と自分が一体となるような体験ができました。またいつか、「高尾100年の森」に行つて今日のような体験をつないでいきたいなと感じました。

初めて植林や森の間伐等を体験しましたが、思った以上に手間がかかったこと、今後数十年のことまで考えていることに驚きました。高校生ながらこのような活動に参加できたことをありがたく思います。今後も環境への活動を積極的に行っていきたいです。



晃華学園中学校高等学校

里山保全のための間伐を体験しました。生徒全員で一心不乱に手ノコを動かしましたが、拓けたのはごく僅かな範囲です。地面に届くようになった日光と木の間からの爽やかな風にやりがいを感じるとともに、森を管理することの大変さを学ぶことができました。

実施体験だけでなく、それを校内で広められるような取り組みがあればよいと思います。

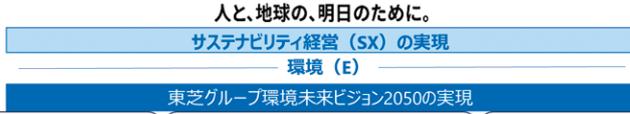


SGホールディングス株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。

TOSHIBA
東芝プラントシステム株式会社

東芝プラントシステム株式会社

東芝プラントシステムは、東芝グループの一員として「東芝グループ環境未来ビジョン2050」を基盤に2050年の「あるべき姿」を見据え、「気候変動への対応」「循環経済への対応」「生態系への配慮」の3つの重点分野に注力して環境活動に取り組んでいます。



カーボンニュートラル(CN) 気候変動への対応	サーキュラーエコノミー(CE) 循環経済への対応	ネイチャーポジティブ(NP) 生態系への配慮
<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量の削減 環境配慮型製品の提供 グリーンカーテン設置(CO₂吸収) 	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物発生量の抑制 産業廃棄物のリサイクル率促進 廃プラスチック排出量の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 生態系に配慮した製品の調達・提供 化学物質及び毒・劇物の管理 生物多様性保全活動
<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量 Scope1~2削減 CN/CE/NP貢献 ビジネスの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 資源有効利用 汚染防止 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全 環境コミュニケーション

カーボンニュートラル(CN)

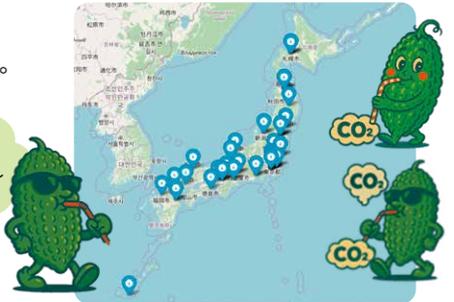
〈GHG削減施策活動 (全社展開のゴーヤカーテンでCO₂回収)〉

建設業のメリットを生かし、北海道から沖縄まで全国の作業所・拠点にゴーヤカーテンを設置。
●ゴーヤ設置：全国59か所、302苗 ●ゴーヤ育成実績：12,801kg-CO₂回収

活動様子



CO₂吸ったぜ～



サーキュラーエコノミー(CE)

〈作業服のリサイクル〉

当社の建設現場・工場で使用している作業服の買い替えなどで、着用しなくなった作業服は、廃棄せず、分別して回収し、リサイクルしています。
回収した作業服は、マテリアルリサイクルの指定再生工場を通じて、河川保護マット・吸音材・ホテル等に使用するクッション材や床マットに再生されています。



リサイクル活動チラシ

リサイクル証明書

活動様子

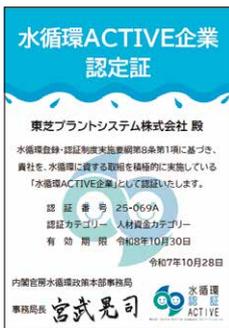


リサイクル回収の様子

ネイチャーポジティブ(NP)

〈水循環企業登録・認証制度「水循環ACTIVE企業」認定〉

当社は、内閣官房水循環政策本部事務局の令和7年度「水循環企業登録・認証制度」において、水循環ACTIVE企業（『人材資金カテゴリー』）に認証されました。



～主な認証活動～

- 庄内川アダプト活動
- 伊勢湾流域圏一斉水質モニタリング
- 東京湾環境一斉調査

庄内川アダプト活動(河川清掃)の様子

活動様子



社内環境活動醸成 環境メルマガ 水質モニタリング活動の様子



東芝プラントシステム株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。



EXPO 大阪・関西万博

「ジュニアSDGsキャンプ」に参加しました

大阪・関西万博の「ジュニアSDGsキャンプ」にて、2024年度全国ユース環境活動発表大会の全国大会に出場した3高校が、取り組んでいる環境活動を世界に向けて発信しました。当日は活動発表のほか、SDGsや環境問題について自ら主体的に考え、行動・態度変容につながるESD実践の場として、大学生と持続可能な社会について意見交換を行いました。

活動発表の様子



徳島県立小松島西高等学校 TOKUSHIMA 雪花菜工房 × 藻藍部

藻場が海水温の上昇などの影響で減少し、海の生態系や漁業に影響が出ている現状に着目し、藻場再生を目指した取組を進めています。藻場減少の背景要因の一つとして指摘される食害にも着目し、食害魚を活用した商品開発を行うとともに、海藻の生育環境の改善を目的に、環境配慮型の自然資源を活用した肥料の開発に取り組んでいます。食と環境をつながげながら、海を豊かにする仕組みづくりを目指すプロジェクトについて発表しました。



宮城県農業高等学校 Re:温故知新

田んぼに肥料をまき忘れてしまうという大失敗をきっかけに、肥料を減らしても健康に育つ栽培方法や新しい肥料の開発に挑戦。環境にやさしく、持続可能な農業の実現を目指した研究活動を発表しました。



北海道岩見沢農業高等学校 自然エネルギー班

処理方法に課題のある「雪」と「もみがら」を有効活用し、環境に配慮しながら農家の所得向上も期待できる、循環型農業の実現に向けた取り組みを発表しました。



大学生とのディスカッションでは「厄介なものから逃げず、古きものにも学びながら、持続可能な循環をつくっていく上で欠かせないことってなに？」をテーマに話し合いを行いました。高校生と大学生、それぞれ異なる視点で議論が行われました。

高校生の皆さんからは「今後の課題も明確になったのでこれからの活動に活かしていきたい」、「自分たちの活動が、さらに広がっていく可能性を実感した」といった感想がありました。今後の活動の方向性などについて熱心な話し合いが行われ、非常に有意義な交流となりました。



環境ユースインターンシップ (北海道地方視察)を開催しました

2024年度全国ユース環境活動発表大会で「10周年記念賞」を受賞した7校の高校を対象に、北海道における持続可能な環境保全活動に係る現場を視察するインターンシップ（1泊2日（2025年8月6日～7日））を開催しました。

下川町視察

下川町は面積の約90%を森林が占めており、循環型の森林経営やゼロエミッション（廃棄物ゼロ）の木材加工など、低炭素型の町づくりに取り組んでいます。循環型森林経営の現場である町内森林、ゼロエミッションを目指し木材を余すことなく資源として活用する木材加工場、木質バイオマスボイラーを活用した熱供給システムのプラントを見学しました。



環境学習交流会

「環境×○○」のかけ算による、持続可能な未来の共創に関するアイデア出しと、自分たちが今後実践する行動宣言を検討するワークショップに取り組みました。環境問題に対する自分自身の想いや立場の違いを尊重しながら、多角的な視点で対話を行い、最後に各グループでの検討結果や行動宣言を全体で共有しました。



旭山動物園視察

北海道には森林、湿地、湖沼、河川、海洋など多様な生態系が広がっており、北方系と南方系の動植物が同時に見られる特有の生態系が形成されています。園内展示を見学し、北海道における外来生物が与える影響や対策状況について学び、自分たちが自地域で実践できることを考えるグループワークに取り組みました。



1
目
目

2
目
目

参加した高校生からは、アンケートで以下のような感想が寄せられました。（一部抜粋・編集しています）

- 下川町では1人1人がSDGsに取り組む姿勢がすばらしいと思った。また、森林を軸とし、木1つで様々な形に姿を変えて利用していることがすばらしく、真似すべき活動だと感じた。
- 環境学習交流会では、理想とする未来についてたくさんの意見が出たが、行動するとなると難しいものが多かった。しかし、家に帰ってすぐのできるものもあり、誰もが簡単に取り組めることから始めたいと思った。
- 旭山動物園の見学を通して、環境は生物や動物にも関係することを改めてしっかりと理解することができた。「エゾヒグマ」や「エゾシカ」や「オオワシ」など、北海道固有のめずらしい動物を守っていかなくてはならないと思った。
- 他校の人たちと意見を交換したり、交流したりする時間が多くとられていたため、友達作りや繋がり構築にとっても有意義だと感じた。

持続可能な社会の実現に向けて取り組みが進められている現場や、それを支えている地域の方々の想いや熱意に触れるとともに、他校の高校生との交流などを通じて、刺激を受ける良い機会になったことと思います。持続可能な社会の実現に向けて、高校生の皆さんの環境保全活動をこれからも応援しています。



私たちはユースの環境活動を応援しています！

大会後援 読売新聞社 記者寄稿

火災で炎に包まれる森から逃げ出す動物たち。そんな中、ハチドリ「フリキンディ」は何度も炎の中へ向かい、くちばしで水を一滴ずつ落としていきます。「そんなことをして何になるんだ」と笑う動物たちに、フリキンディは答えます。「私は私にできることをしているだけ」――。

1月31日、2月1日に東京都内で開かれた第11回全国ユース環境活動発表大会の全国大会。出場した鹿児島市立鹿児島玉龍高校の「Sea Flowers」が進めるマイクロプラスチックによる環境汚染を減らす活動「フリキンディ・プロジェクト」は、南米に伝わるこの物語が名前の由来になったそうです。大会では「自分にできることをする人が増えれば、社会は変わっていく」と力強く訴えました。

全国の高校生が始めた活動は、それぞれ地方で根を張り、次の世代や地域住民へと広がりを見せつつあります。

環境再生保全機構理事長賞に輝いた宮城県農業高校は、東日本大震災後に始めた桜を守る活動を現在も続けています。「桜プロジェクトチーム」は「14年間受け継がれてきた先輩たちの思いを後輩たちにも引き継ぐ」と思いを語りました。SDGs活動特別賞の愛知県立新城有教館高校作手校舎の「作手校舎農業クラブ生物保全プロジェクト班」は、2030年の作手校舎の閉校を前に、生物保全活動の担い手を地域に移していく取り組みを始めました。

大会の講演で、審査委員長の二ノ宮リムさち・立教大教授は「ホールコミュニティ（ソサエティ）アプローチ」を重要なキーワードの一つとして紹介し、「持続可能な社会の実現のため、学校での取り組みを地域全体、社会全体に広げてほしい」と呼びかけました。大会では、ステージでの発表に目を輝かせ、大きな拍手を送る高校生たちの姿が強く印象に残りました。同じ志を持つ仲間たちの活動が刺激となり、小さな「一滴」が世界を動かす大河に変わっていくことを願っています。

(読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 記者 宮下裕二)

大会協賛企業 応援メッセージ

よるこびがつながる世界へ



キリンホールディングス株式会社

あなたの一歩 未来をつなぐ

皆さんの自然や文化を守るチャレンジは、単なる環境の側面のみならず、経済、社会、健康といった大きなテーマと密接につながっています。

小さな行動が連鎖を生み、地域から世界へ。仲間と学び、課題を見つけ、つながりを広げることが明るい未来をつくります。

皆さんの活動のさらなる発展を期待しています。



協栄産業株式会社

発想と熱い思い 大きな力

地域や社会が抱える問題に対し、日々仲間と意見を交わし、取り組む姿勢に感銘を受けました。皆さんの新しい発想と熱い思いが、これからの未来にとって大きな力となっていきます。これからも全国の仲間との絆を深め、切磋琢磨して目標に向かって頑張ってください。応援しています。



Grow the new Story.

SGホールディングス株式会社

小さな一歩 大きな未来へ

一つ一つは小さなことでも、一歩ずつ取り組めば大きな未来へとつながります。

自ら行動を起こすのが難しい人も多く、皆さんの前向きな姿勢と行動力は、未来を動かす一歩となり、周囲にも前向きな変化をもたらしています。

私たちが皆さんが参加しやすい環境イベントを企画し、取り組みを全力で応援していきます。



東芝プラントシステム株式会社

前向きな挑戦 未来動かす

皆さんの一つ一つの行動が未来を大きく変えていきます。

全国ユース環境活動発表大会は、ユース世代の皆さんが環境に関する課題解決に向けて創意工夫を凝らし、地域のコミュニティと協力しながら取り組む素晴らしい活動の発表の場です。

私たちは、将来を担う皆さんの活動をこれからも応援し、サポートしていきます。

事務局より
(編集後記)

皆さまのご協力により、第11回全国ユース環境活動発表大会の全日程を無事に終えることができました。ご応募いただいた高校・団体の皆さまに心から御礼申し上げます。今回の大会で新たな友人を得た方も多いと思います。志を同じくする仲間として、ぜひ連携・協力しながら活動を続けていただければと思います。我々は今後も環境保全活動を実践するユース世代を応援していきます！

発行

全国ユース
環境ネットワーク

Japan Environmental Youth Network

〒212-8554 神奈川県川崎市大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8階

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金内

全国ユース環境ネットワーク事務局

TEL: 044-520-9505 mail: youth@erca.go.jp

URL: <https://www.erca.go.jp/jfge/youth/>

